

## 模擬授業テーマ一覧（必ず、別紙実施案内を読んでもください。）

次の①～⑤のいずれかの該当者は（１）特別支援学校の出願校種のテーマを選択してください。

- ① 特別支援学校（幼稚部・小学部共通）・特別支援学校（小学部）の出願者
- ② 大学推薦者のうち、『特別支援学校』（「幼稚部・小学部共通」「小学部」「中学部」「高等部」）の出願者
- ③ 教志セミナー『特別支援学校』（小学部・中学部・高等部）修了者で、教志セミナー修了者対象として出願した者
- ④ 教職経験者対象の選考（現職教諭）のうち、『特別支援学校』の「小学部」「中学部」「高等部」の勤務実績で出願した者
- ⑤ 大学院進（在）学者対象の選考のうち、H27テストまたはH28テストにおいて「特別支援教育推進の選考」または上記①～④のいずれかの出願で合格した者

### （１）特別支援学校（上枠内①～⑤のいずれかに該当する受験者）

特別支援学校 幼稚部・小学部共通、小学部	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 高等部学習指導要領 p53 [生活] 2 内容 ≫ ○ 2段階 (4) 教師の援助を受けながら身近な人にあいさつや話をするなどのかかわりをもつ。
特別支援学校 中学部	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 高等部学習指導要領 p61 [職業・家庭] 2 内容 ≫ (1) 働くことに関心を持ち、作業や実習に参加し、働く喜びを味わう。
特別支援学校・ 高等部	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 高等部学習指導要領 p192 [職業] 2 内容 ≫ ○ 1段階 (6) 職業生活に必要な健康管理や余暇の有効な過ごし方が分かる。

### （２）各教科等・・・上記（１）以外の受験者

#### 【小学校・小中いきいき連携】

校種・教科 (科目)等	模 擬 授 業 の 内 容
小学校 小中いきいき連携	≪ 小学校学習指導要領 p18 国語 [第1学年及び第2学年] 2 内容 ≫ A 話すこと・聞くこと (1) 話すこと・聞くこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。 イ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。
※ 国語・社会・算数・理科 から一つ選択して模擬授業を行うこと。	≪ 小学校学習指導要領 p34～35 社会 [第3学年及び第4学年] 2 内容 ≫ (3) 地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする。 ア 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり
	≪ 小学校学習指導要領 p56 算数 [第5学年] 2 内容 ≫ D 数量関係 (2) 数量の関係を表す式についての理解を深め、簡単な式で表されている関係について、二つの数量の対応や変わり方に着目できるようにする。
	≪ 小学校学習指導要領 p64 理科 [第4学年] 2 内容 ≫ B 生命・地球 (2) 季節と生物 身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。 イ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

## 【中学校】

校種・教科 (科目)等	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・国語	≪ 中学校学習指導要領 p20～21 国語 [第1学年] 2 内容 ≫ A 話すこと・聞くこと (1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。 (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 イ 日常生活の中の話題について対話や討論などを行うこと。
中学校・社会  ※ 地理的分野・歴史的分野・公民的分野から一つ選択して模擬授業を行うこと。	≪ 中学校学習指導要領 p32～33 社会 [地理的分野] 2 内容 ≫ (2) 日本の様々な地域 ウ 日本の諸地域 (ア) 自然環境を中核とした考察 地域の地形や気候などの自然環境に関する特色ある事項を中核として、それを人々の生活や産業などと関連付け、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることや、地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることなどについて考える。  ≪ 中学校学習指導要領 p37～38 社会 [歴史的分野] 2 内容 ≫ (5) 近代の日本と世界 オ 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを通して、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。  ≪ 中学校学習指導要領 p43 社会 [公民的分野] 2 内容 ≫ (3) 私たちと政治 イ 民主政治と政治参加 地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。また、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深めさせる。さらに、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させるとともに、民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えさせる。その際、選挙の意義について考えさせる。
中学校・数学	≪ 中学校学習指導要領 p48 数学 [第1学年] 2 内容 ≫ A 数と式 (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。 ア 文字を用いることの必要性和意味を理解すること。
中学校・理科  ※ 四つの領域の中から一つ選択して模擬授業を行うこと。	≪ 中学校学習指導要領 p57～58 理科 [第1分野] 2 内容 ≫ (1) 身近な物理現象 ア 光と音 (イ) 凸レンズの働き 凸レンズの働きについての実験を行い、物体の位置と像の位置及び像の大きさの関係を見いだすこと。  ≪ 中学校学習指導要領 p60 理科 [第1分野] 2 内容 ≫ (4) 化学変化と原子・分子 イ 化学変化 (ア) 化合 2種類の物質を化合させる実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだすとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されること及び化学変化は化学反応式で表されることを理解すること。  ≪ 中学校学習指導要領 p65 理科 [第2分野] 2 内容 ≫ (1) 植物の生活と種類 イ 植物の体のつくりと働き (ア) 花のつくりと働き いろいろな植物の花のつくりの観察を行い、その観察記録に基づいて、花のつくりの基本的な特徴を見いだすとともに、それらを花の働きと関連付けてとらえること。  ≪ 中学校学習指導要領 p67～68 理科 [第2分野] 2 内容 ≫ (4) 気象とその変化 ウ 日本の気象 (イ) 大気の動きと海洋の影響 気象衛星画像や調査記録などから、日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響に関連付けてとらえること。
中学校・音楽	≪ 中学校学習指導要領 p74～75 音楽 [第1学年] 2 内容 ≫ A 表現 (3) 創作の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。 [共通事項] (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。

校種・教科 (科目)等	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・美術	<p>《 中学校学習指導要領 p81 美術 [第1学年] 2 内容 》</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1)美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して、鑑賞に関する次の事項を指導する。</p> <p>ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げること。</p> <p>[共通事項]</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。</p> <p>イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。</p>
中学校・保健体育	<p>《 中学校学習指導要領 p94～95 保健体育 [保健分野] 2 内容 》</p> <p>(1)心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。</p> <p>エ 精神と身体は、相互に影響を与え、かかわっていること。</p> <p>欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。</p>
中学校・技術	<p>《 中学校学習指導要領 p98 技術・家庭 [技術分野] 2 内容 》</p> <p>B エネルギー変換に関する技術</p> <p>(1) エネルギー変換機器の仕組みと保守点検について、次の事項を指導する。</p> <p>ア エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知ること。</p>
中学校・家庭	<p>《 中学校学習指導要領 p100 技術・家庭 [家庭分野] 2 内容 》</p> <p>A 家族・家庭と子どもの成長</p> <p>(2)家庭と家族関係について、次の事項を指導する。</p> <p>ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。</p>
中学校・英語	<p>《 中学校学習指導要領 p105～106 外国語 英語 2 内容 》</p> <p>(1)言語活動</p> <p>イ 話すこと</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。</p>

## 【高等学校】

校種・教科 (科目)等	模 擬 授 業 の 内 容
高校・国語	<p>《 高等学校学習指導要領 p25 第1 国語総合 2 内容 》</p> <p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 次の事項について指導する。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。</p> <p>イ 調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを聞いたりすること。</p>
高校・ 地理歴史 (日本史)	<p>《 高等学校学習指導要領 p40 第4 日本史 B 2 内容 》</p> <p>(2) 中世の日本と東アジア</p> <p>ウ 中世社会の展開</p> <p>日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>
高校・ 地理歴史 (世界史)	<p>《 高等学校学習指導要領 p37 第2 世界史 B 2 内容 》</p> <p>(4) 諸地域世界の結合と変容</p> <p>ウ 産業社会と国民国家の形成</p> <p>産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。</p>
高校・ 地理歴史 (地理)	<p>《 高等学校学習指導要領 p44 第6 地理 B 2 内容 》</p> <p>(1)様々な地図と地理的技能</p> <p>ア 地理情報と地図</p> <p>地球儀の活用、様々な時代や種類の世界地図の読図、地理情報の地図化などの活動を通して、各時代の人々の世界観をとらえさせるとともに、地図の有用性に気付かせ、現代世界の地理的事象をとらえる地理的技能を身に付けさせる。</p>
高校・公民 (政治経済) ※公民・福祉共通 は別課題	<p>《 高等学校学習指導要領 p51 第3 政治・経済 2 内容 》</p> <p>(3)現代社会の諸課題</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題</p> <p>地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>
高校・数学	<p>《 高等学校学習指導要領 p56 第2 数学Ⅱ 2 内容 》</p> <p>(5)微分・積分の考え</p> <p>ア 微分の考え</p> <p>(7)微分係数と導関数</p> <p>微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。</p>

校種・教科 (科目)等	模 擬 授 業 の 内 容
高校・理科 (物理)	≪ 高等学校学習指導要領 p66 第2 物理基礎 2内容 ≫ (1)物体の運動とエネルギー ウ 力学的エネルギー (7)運動エネルギーと位置エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。
高校・理科 (化学)	≪ 高等学校学習指導要領 p73 第4 化学基礎 2内容 ≫ (3)物質の変化 ア 物質と化学反応式 (7)物質 物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解すること。
高校・理科 (生物)	≪ 高等学校学習指導要領 p79 第7 生物 2内容 ≫ (1)生命現象と物質 ア 細胞と分子 (4)生命現象とタンパク質 様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解すること。
高校・理科 (地学)	≪ 高等学校学習指導要領 p83 第8 地学基礎 2内容 ≫ (2)変動する地球 エ 地球の環境 (7)地球環境の科学 地球環境の変化を科学的に考察すること。
高校・音楽	≪ 高等学校学習指導要領 p98 第1 音楽Ⅰ 2内容 ≫ A 表現 (2)器楽 ア 曲想を楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって演奏すること。
高校・美術	≪ 高等学校学習指導要領 p101 第4 美術Ⅰ 2内容 ≫ A 表現 (1)絵画・彫刻 イ 表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練ること。
高校・書道	≪ 高等学校学習指導要領 p107 第10 書道Ⅱ 2内容 ≫ A 表現 (1)漢字仮名交じりの書 ア 意図に即した表現と用具・用材の関係を工夫すること。
高校・保健体育	≪ 高等学校学習指導要領 p96 第2 保健 2内容 ≫ (3)社会生活と健康 ア 環境と健康 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。
高校・家庭 ※家庭・福祉共通 は別課題	≪ 高等学校学習指導要領 p119 第2 家庭総合 2内容 ≫ (1)人の一生と家族・家庭 ア 人の一生と青年期の自立 生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について理解させ、青年期の課題である自立や男女平等と協力などについて認識させるとともに、生涯を見通した青年期の生き方について考えさせる。
高校・農業	≪ 高等学校学習指導要領 p129 第1 農業と環境 2内容 ≫ (1)暮らしと農業 エ 農業の動向と課題
高校・工業 (機械)	≪ 高等学校学習指導要領 p176 第13 機械設計 2内容 ≫ (3)材料の強さ ア 機械部分に生ずる応力とひずみの関係
高校・工業 (電気)	≪ 高等学校学習指導要領 p184 第22 電子技術 2内容 ≫ (2)半導体と電子回路 ア 半導体
高校・工業 (工業デザイン)	≪ 高等学校学習指導要領 p221 第59 デザイン技術 2内容 ≫ (1)デザインの基礎 エ 色彩
高校・工業 (工業実習)	≪ 高等学校学習指導要領 p175 第12 機械工作 2内容 ≫ (2)機械材料 ウ 新素材
高校・商業	≪ 高等学校学習指導要領 p225 第1 ビジネス基礎 2内容 ≫ (2)ビジネスとコミュニケーション ウ 情報の入手と活用

校種・教科 (科目)等	模 擬 授 業 の 内 容
高校・英語	<p>《 高等学校学習指導要領 p110 外国語 第2 コミュニケーション英語Ⅰ 2内容 》</p> <p>(1)生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p>
高校・中国語 及び 韓国・朝鮮語	<p>《 高等学校学習指導要領 p110 外国語 第2 コミュニケーション英語Ⅰ 2内容 》</p> <p>(1)生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>※ p.114にある「第2款 第8 その他の外国語に関する科目」の内容に従い、上記の内容に関して「英語」を「中国語」または「韓国・朝鮮語」に読み替えて模擬授業を行ってください。</p>
高校・情報	<p>《 高等学校学習指導要領 p126～127 第2 情報の科学 2内容 》</p> <p>(1) コンピュータと情報通信ネットワーク</p> <p>ア コンピュータと情報の処理</p> <p>コンピュータにおいて、情報が処理される仕組みや表現される方法を理解させる。</p>
高校・ 公民・福祉共通 家庭・福祉共通	<p>《 高等学校学習指導要領 p324 第8 ことごとからだの理解 2内容 》</p> <p>(5)障害の理解</p> <p>イ 生活機能障害の理解</p>

### 養護教諭・栄養教諭・自立活動教諭・視覚支援学校教諭

養護教諭	<p>《 高等学校学習指導要領 p95 保健体育 第2 保健 2内容 》</p> <p>(1)現代社会と健康</p> <p>イ 健康の保持増進と疾病の予防</p> <p>喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。</p>
栄養教諭	<p>《 小学校学習指導要領 p112～113 特別活動 [学級活動] 2内容 》</p> <p>[共通事項]</p> <p>(2)日常の生活や学習への適応及び健康安全</p> <p>キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成</p>
自立活動教諭 【肢体不自由教育】	<p>《 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 高等部学習指導要領 p68 第7章 自立活動 2内容 》</p> <p>6 コミュニケーション</p> <p>(4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。</p>
視覚支援学校教諭 【理療】	<p>《 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 高等部学習指導要領 p117 第3款 保健理療 [医療と社会] 2内容 》</p> <p>(2)医療制度の現状と課題</p> <p>イ 医療と社会</p>

- ◎ 表内に示されているページは、文部科学省より発行されている学習指導要領（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）のページ数を表しています。WEBページ上の上のものではありませんので注意してください。
- ◎ 模擬授業の内容に関する質問については、お答えできません。